

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
26-38	中学校	外国語	英語	第1～3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	英語 727 827 927	NEW HORIZON English Course 1～3		

## 1. 編修の趣旨および留意点

国際社会を生き抜く日本人を育成するために、中学校英語の教科書に必要な2つのことに留意しています。

- 英語力の基礎を「技能」として確実に身につけること
- その英語力で積極的に世界とつながろうとする「心」を育てること

そのために編集すべき構成・内容は何かを考え、3学年を通じた全体テーマを「つなぐ」としています。また、それを支える学年テーマを以下のように掲げ、それぞれに適した題材を取り扱うようにしています。

### 1年 「出会う」

英語を通じて新しい世界に出会おう



### 2年 「広げる」

英語を通じて視野を広げよう



### 3年 「見つめ直す」

英語を通じて新たな視点で見つめ直そう



## 2. 編修の基本方針

全体テーマである「つなぐ」に沿った3つの基本方針に基づいて編集しています。

基本方針

1

習得・活用を発信に「つなぐ」

- 全体をUnit「習得」、Daily Scene「活用」、Presentation「発信」の3部構成とし、これらをくり返し学習することで、英語の基礎を確実に身につけることができます。
- 習得した基礎学力を積み上げて活用し、自分の言葉で世界に発信するための表現力を、4技能を使って総合的に育成することができます。

基本方針

2

小中高の学習を「つなぐ」

- 小学校外国語活動で慣れ親しんだ音の素地をふまえ、中学校の英語の基礎を養うための文字指導にスムーズに入ることができます。
- 中学校3年間の学習を通して英語を学ぶ楽しさを知り、高校以降も生涯学び続ける自学自習の意欲・態度を身につけることができます。

基本方針

3

人と人、文化と文化、国と国を「つなぐ」

- 自国の伝統・文化に対する理解を深め、国際社会の中で生きる日本人としての思考力・判断力の育成を促すことができます。
- 世界の国や文化を広く取り上げ、多様な人々と積極的にコミュニケーションを図ることに夢と希望を持つことができます。

### 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所例
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各Unitで取り上げた題材を通して異文化の発想や考え方を 知り、広い視野を育成します。(第1号)</li> <li>②Let's Readでは、生徒の心情に訴えるような題材を取り上げ、 豊かな情操と道徳心を培うように配慮しています。(第1号)</li> <li>③各学年の巻末に設けた語彙集や資料で、より幅広い知識と教 養が身につく、豊かな自己表現を促します。(第1号)</li> <li>④Daily Sceneでは、言語の使用場面や働きをふまえたコミュ ニケーション活動を行い、実生活に生かすことができます。 (第2号)</li> <li>⑤立場の違いをこえて、だれもが住みやすい社会について考え る意識を醸成できるように配慮しています。(第3号)</li> <li>⑥ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に 用意し、協力し合う心を育みます。(第3号)</li> <li>⑦イラストや写真も含め、男女が協力して家庭生活を営み、男 女共同参画社会に資する姿を示しています。(第3号)</li> <li>⑧自然を大切にしたり、環境の保全に心がけたりするような題 材を取り上げています。(第4号)</li> <li>⑨外国の生活や文化を紹介し、他国への理解と尊重の心を育み、 国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第5号)</li> <li>⑩2020年東京五輪・パラリンピック開催を控え、わが国の伝 統や文化について知り、それらを外国に向けて発信する力を 養います。(第5号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①2年54～63ページ Unit 4「Homestay in the United States」</li> <li>②2年96～99ページ Let's Read 2「Try to Be the Only One」</li> <li>③1年142～146ページ「Bonus Word Box」</li> <li>④3年68～69ページ Daily Scene 4「道案内」</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤2年68～77ページ Unit 5「Universal Design」</li> <li>⑥3年31ページ Unit 2 Activity②「いつからなによし？」</li> <li>⑦1年112～113ページ Daily Scene 6「ちょっとお願い」</li> <li>⑧2年118～121ページ Let's Read 3「Cooking with the Sun」</li> <li>⑨3年54～57ページ Let's Read 1「A Mother's Lullaby」 3年82～91ページ Unit 6「Striving for a Better World」</li> <li>⑩3年18～21ページ Presentation 1「日本文化紹介」</li> </ul> 
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>①英語の基本的な文構造や発音などの学習を通して、日本語と は異なる特色に気づき、理解しようとする態度を養います。 (第1号)</li> <li>②1年を通してキャラクターたちが活躍するストーリーがくり 広げられます。生徒は自らの学校生活と重ねて学習できます。 (第2号)</li> <li>③親しみのある日本の文学作品を平易な英語で掲載しています。 我が国の文化を新鮮な目で見つめ直します。(第5号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①Hi, English!, Unit 0～11, まとめと練習, 学び方コー ナーなど</li> <li>②11ページ「Open the Door」</li> <li>③128～130ページ Let's Read 「The Restaurant with Many Orders」</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>①職業体験や将来の夢に関する題材を取り上げています。勤労 を重んじ、主体的な生き方を考える態度を養います。(第2号)</li> <li>②動物とのふれあいを通じて、命の大切さを考えさせる題材を 取り上げています。(第4号)</li> <li>③日本の伝統文化「落語」を取り上げ、文化の違いをこえて通 じる「笑い」について扱っています。(第5号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①32～41ページ Unit 3「Career Day」</li> <li>②100～109ページ Unit 7「The Movie Dolphin Tale」</li> <li>③80～89ページ Unit 6「Rakugo in English」</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>①東日本大震災について扱った読解教材を通して、過去の自然 災害から学ぶ姿勢を育て、防災意識を高めます。(第3号)</li> <li>②経済面での世界とのつながりを意識できるよう、フェアト レードを扱っています。社会科とも関連させて扱えるテーマ です。(第5号)</li> <li>③2020年東京五輪・パラリンピックの招致プレゼンテーショ ンを行った佐藤真海さんについて取り扱い、世界に向けて発 信できる日本人の姿を見せます。(第5号)</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>①58～67ページ Unit 4「To Our Future Generations」</li> <li>②34～43ページ Unit 3「Fair Trade Event」</li> <li>③148～149ページ Further Reading 1 「Sato Mami: Making the Best of Life」</li> </ul>

## 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

観点	留意点	具体例
<p>① 教育基本法の遵守</p>	<p>① この教科書では、国際社会を生き抜く日本人を育成するために、英語力の基礎を「技能」として確実に身につけ、その英語力で積極的に世界とつながろうとする「心」を育てることを目指しています。</p> <p>② 2020年に東京で開催される五輪・パラリンピックに向けて、世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、伝統や文化に関する題材を豊富に取り上げています。</p>	<p>① 1・2・3年口絵 「出会う」「広げる」「見つめ直す」</p> <p>② 3年18～21ページ Presentation 1「日本文化紹介」</p>
<p>② 学習指導要領の遵守</p>	<p>① 3学年を通して、「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎」を確実に養えるように、内容が選択・配列されています。</p> <p>② 生徒が自分の言葉で英語を使う活動が豊富で、「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」ができます。</p> <p>③ 題材は英語圏だけでなく、非英語圏、日本と広く取り上げられ、「言語や文化に対する理解を深める」ことができます。</p> <p>④ Unit（文法と語彙の習得）→ Daily Scene（コミュニケーション活動による活用）→ Presentation（自己表現活動による発信）の3部構成によって、4技能を総合的に育成できる学習の流れになっています。</p> <p>⑤ 各構成には、技能別の練習問題が配され、4技能がそれぞれ重点化されながら適宜統合されるようになっており、これらをくり返し学習することによって、基礎的な知識・技能を確実に定着できます。</p>	<p>① 1年94～105ページ、2年100～121ページ、3年6～21ページの Listen, Speak, Read, Write</p>  <p>② 2年46～49ページ Presentation 1「将来の夢」</p> <p>③ 3年6～15ページ Unit 1 「Pop Culture Then and Now」</p> <p>④ 2年2～3ページ この教科書の構成、この教科書で学ぶこと</p> <p>⑤ 3年34～57ページ Unit（基本練習 → 技能別練習 → Activity）→ Daily Scene → まとめと練習 → 学び方コーナー → Presentation → Let's Readの流れ</p>
<p>③ 内容・系統</p>	<p>① 1年から3年まで、言語材料・言語活動・題材内容の各面にわたって、既習事項を新たな学習内容に関連させながらゆるやかに難易度や知的レベルを上げているため、コミュニケーションの達成感や題材内容理解において、無理なく生徒の発達段階に適合することができます。</p> <p>② 1年においては、Unitの各Partで文法、語彙、題材、コミュニケーション活動の4つが総合的に扱われ、バランスがとれています。</p> <p>③ 2・3年においては、UnitのStarting OutとDialogでは文法と「聞く」「話す」中心のコミュニケーション活動に、Read and Think ①②では「読む」「書く」中心のコミュニケーション活動に重点が置かれており、最後のActivityで技能統合型のUnitのまとめの活動ができます。</p> <p>④ Daily Scene, PresentationではUnitで学習した基本文をモデル文の中でくり返し扱うことで基礎の定着を図っています。</p> <p>⑤ Daily Sceneでは、「電話の会話」、「道案内」を各学年での言語材料と生徒の学習進度を考慮して、難易度を上げながらくり返して扱えるように構成されています。</p> <p>⑥ 全体的に文法指導が中心のところは本文量が少なく、「読む」活動が中心のところは多く、という配分で、生徒の負担に配慮しています。</p>	<p>① 1・2・3年2～3ページ この教科書の構成、この教科書で学ぶこと</p> <p>② 1年66～71ページ Unit 6「オーストラリアの兄」</p> <p>③ 2年6～15ページ Unit 1 「A Friend in a Sister School」</p> <p>④ 比較表現 2年100～109ページ Unit 7「The Movie <i>Dolphin Tale</i>」, 2年110～111ページ Daily Scene 7「買い物」, 2年114～117ページ Presentation 3「好きなこと・もの」</p> <p>⑤ Daily Scene「電話の会話」 1年72～73ページ, 2年64～65ページ, 3年80～81ページ</p> <p>⑥ 3年6～7ページ Starting Outと 3年10～11ページ Read and Think ①</p>
<p>④ コミュニケーション活動</p>	<p>① 3学年を見通した精密なシラバスに則って編集されており、4技能がバランスよく扱われています。</p> <p>② 生徒が「自分の言葉として英語を使う」活動が豊富です。</p> <p>③ 語彙や言語材料の定着にあたっては、運用度の高いものを用い、活用することを通して定着を図ることができます。</p> <p>④ 練習問題のバリエーションは豊かで、Unitの言語材料がくり返し取り扱われるため、全体としてコミュニケーション能力の基礎を確実に身につけられます。</p> <p>⑤ 3学年を通して「言語の使用場面」「言語の働き」が非常に明確に示され、特にDaily Sceneでは生徒が日常生活で使える場面の表現が、実写とセリフを通して習得しやすくなっています。</p> <p>⑥ 国際社会を生き抜く日本人の育成を目指し、Presentationでは自己表現活動で英語を使って情報を発信することができます。</p> <p>⑦ 読みの指導においても、読後に感想や賛否・理由を示せるように、書かれた内容や考え方をとらえるためのヒントを用意しています。</p>	<p>① 1・2・3年2～3ページ この教科書の構成、この教科書で学ぶこと</p> <p>② 1年126～127ページ Presentation 3「思い出の行事」</p> <p>③ 1年104～105ページ Presentation 2「一日の生活」</p> <p>④ 1年45ページ Listening Activity 1「何のCM?」, 2年76ページ Activity 1「今日のニュース」, 3年30ページ Activity 1「スタジアムから」</p> <p>⑤ 1年100～101ページ Daily Scene 5「道案内」</p> <p>⑥ 3年18～21ページ Presentation 1「日本文化紹介」</p> <p>⑦ 3年74～77ページ Unit 5 Read and Think ①② 「Living with Robots — For or Against」</p>

観点	留意点	具体例
⑤ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>① Unitの本文は精選されて、重要文法事項が系統的にくり返し提示され、本文と基本本文の練習問題の学習だけで十分に基礎を習得できます。</li> <li>② Unit, Daily Scene, Presentationの各練習問題は、基本的なものから応用的なものまで段階的に配列され、バリエーションも豊かです。</li> <li>③ 重要語は語句欄に太字で示し、覚えるべき優先度を示しています。</li> <li>④ 応用的な課題にはTool Box, Bonus Word Box, Word Roomなどで補充語彙・表現が示されています。</li> <li>⑤ 本編の指導時数は1年112時間、2年103時間、3年94時間で、週4時間全140時間の指導時数に対して十分な余裕があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 3年6～7ページ Unit 1 Starting Out</li> <li>② 2年55ページ Unitの基本練習・技能別練習、2年78～79ページ Daily SceneのSTEP 1・2・3、2年92～93ページ PresentationのHop・Step・Jump</li> <li>③ 1年106ページ 側注の語句</li> <li>④ 1年54・142～146ページ Tool Box, Bonus Word Box</li> </ul>
⑥ 学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 3学年を通して多様な題材に触れることにより生徒の知的好奇心を満たし、Presentationに代表される豊富な発信型の練習問題に取り組むことで、コミュニケーションに直結する思考力、判断力、表現力を育成することができます。</li> <li>② Unitの基本本文に対応する練習問題を、同じ見開きの基本練習と技能別練習で必ず取り扱い、さらにはUnit末の練習問題Activity, 文法事項を視覚的に整理して復習することができる「まとめと練習」で扱うことにより、文法を確実に定着できます。</li> <li>③ 練習問題は原則として既習語で作成し、活動を膨らませるのに必要な語句や表現はTool Boxなどで題材語として補充します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① (Unit) 1年110ページ 富嶽三十六景、2年80～88ページ 落語、3年6～14ページ 浮世絵とポップカルチャー →(Presentation) 3年18～21ページ「日本文化紹介」</li> <li>② 1年114ページ まとめと練習⑥「疑問詞」</li> <li>③ 1年39ページ Tool Box、1年142～146ページ Bonus Word Box</li> </ul>
⑦ 評価 (CAN-DO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各構成の目標が明示され、その目標にいたるまでの授業における活動を段階的に展開しており、3年間を通した学習がCAN-DOに対応した学習の流れで見通せるようになっています。</li> <li>② 各Unit冒頭の「学習の目標」を受けて、Activityでは言語活動を通してそのUnitにおける目標の到達度を確認することができます。</li> <li>③ Daily Sceneでは直前のUnitで習得した言語材料を用いた場面設定で実際に活用できるかをSTEPで確認できます。</li> <li>④ Presentationではスピーチ原稿を作成することで自己表現活動を年3回学期末に行い、発信力を確かめることができます。</li> <li>⑤ ほとんどの授業の最後は「書く」活動で終わられ、学習の成果をノート指導で確認しやすくなっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2年32～41ページ Unit 3「Career Day」、2年46～49ページ Presentation 1「将来の夢」</li> <li>② 3年22～31ページ Unit 2 現在完了形 →Activity 2「いつからなかよし?」</li> <li>③ 2年78～79ページ Daily Scene 5「道案内」</li> <li>④ 1年54～55ページ Presentation 1「自己紹介」</li> <li>⑤ 1年23ページ Speak &amp; Write</li> </ul>
⑧ 学習意欲・主体的な学習態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>① イラスト、図表などは内容的に吟味し、わかりやすく提示しています。</li> <li>② 紙面スペースを有効に活用して「一言メモ」や「コラム」を入れ、本文内容の理解やコミュニケーション活動に役立つ情報がわかりやすく説明されています。</li> <li>③ 1年に登場するキャラクターの出身国を2・3年の題材事例地に関連させ、教科書への興味を3年間持続できるようにしています。</li> <li>④ 英語を意欲的・主体的に学習するための方法(How to)を身につける単元を「学び方コーナー」に用意し、指導時数を配当しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 3年42ページ ガーナの地図・年間平均気温グラフ、輸出品の割合グラフ</li> <li>② 2年11ページ コラム「アメリカの学校生活」</li> <li>③ 1年84～89ページ Unit 8「イギリスの本」→2年18～27ページ Unit 2「A Trip to the U.K.」</li> <li>④ 1年115ページ 学び方コーナー⑥「発音記号」</li> </ul>
⑨ 伝統・文化の取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 3学年を通して日本に関する話題を古典的なものから現代的なものまでくり返し関連を持って随所に登場させています。</li> <li>② 世界の伝統・文化をPresentationのChallengeに掲載されているスピーチ原稿などを通して紹介することにより、我が国の伝統・文化への意識を高め、日本を世界に紹介する意欲を促すことができます。</li> <li>③ 言語を文化ととらえ、英語の基本的な文構造や発音などの学習を通して、日本語との違いに気づきを与える活動を取り扱っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 1年58ページ カレーライス、2年91ページ 英語俳句、3年70ページ 和太鼓</li> <li>② 2年94ページ 福建土楼(中国)、3年20ページ アロハシャツと着物(アメリカ)</li> <li>③ 2年67ページ 学び方コーナー②「文の読み方」</li> </ul>
⑩ 自然科学の取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 英語科にふさわしい意味のある切り口で取り上げられるよう、特殊な語彙や表現による負担に配慮して、題材選定をしています。</li> <li>② グラフや地図などを読み取る教材として、文字だけではなく、様々な表現形態を用いて思考力を養うことができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2年118～121ページ Let's Read 3「Cooking with the Sun」</li> <li>② 3年29ページ Read and Think ②のコラム「アマゾン川や熱帯雨林の恩恵と環境問題」</li> </ul>

観点	留意点	具体例
11 今日的課題の 取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒の興味・関心に即したものと今日的な教育課題が3学年を通じて選択されています。</li> <li>②2・3年ではキャリア教育、環境、福祉、防災・安全、技術・情報化、人権、平和、映画作品、国際理解、異文化理解、伝統・文化、自然科学、物語、人物伝などの多様な題材を取り上げています。</li> <li>③1年ではALTや海外からの友達との出会いを通じて、日本国内の国際化に目を向けます。</li> <li>④単なる読み物教材としてだけでなく、読んだものを使って話し合ったり、感想文を書いたりして、4技能を統合・総合しながら、本文・練習問題ともに、取り上げ方を工夫しています。</li> <li>⑤Daily Sceneの3年間通しのストーリーでは、日本人の母と米国人の父を持つ少女エリカを主人公に、日本のインターナショナルスクールからニューヨークに舞台を移して、グローバル社会をたくましく生きる姿を描いています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②(キャリア教育) 2年32~41ページ Unit 3「Career Day」, (環境) 3年106~111ページ Let's Read 3「An Artist in the Arctic (星野道夫)」, (福祉) 2年68~77ページ Unit 5「Universal Design」, (防災・安全) 3年58~67ページ Unit 4「To Our Future Generations」, (技術・情報化) 3年70~79ページ Unit 5「Living with Robots - For or Against」, (人権) 2年96~99ページ Let's Read 2「Try to Be the Only One」, (平和) 3年54~57ページ Let's Read 1「A Mother's Lullaby」, (映画作品) 2年100~109ページ Unit 7「The Movie Dolphin Tale」</li> </ul>
12 小学校との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小学校外国語活動で慣れ親しんだ英語とそれを学ぶ「楽しさ」を引き継ぎ、中学校での「読む」・「書く」力を確実に習得できるように、1年冒頭に2つの入門期パートを用意しています。</li> <li>②小学校国語教科書で学ぶ機会の多い文学作品を再度英語で取り扱い、言語の違いを比較できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①1年4~10ページ Hi, English! 12~17ページ Unit 0</li> <li>②1年128~130ページ Let's Read「The Restaurant with Many Orders(宮澤賢治)」</li> </ul>
13 高校との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>①高校以降へのスムーズな接続のために、「学び方コーナー」を用意して、5つの文構造や辞書の使い方、文章のまとめ方などを扱います。</li> <li>②Let's ReadのReviewやPresentationのCheckの読解問題、中学校の学習内容一覧で入試に対応します。</li> <li>③読む力を高校に接続するため、Further Readingを用意しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①3年95ページ「5つの文構造」</li> <li>②3年141~143ページ「1~3年 表現のまとめ」「1~3年 基本文一覧」</li> </ul>
14 他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>①社会科との関連で経済面での世界とのつながりを扱ったフェアトレードのほか、取り扱う題材を通して国語、理科、技術など多くの他教科との関連を図っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①(社会科) 3年34~43ページ Unit 3「Fair Trade Event」 3年82~91ページ Unit 6「Striving for a Better World」(国語) 1年128~130ページ Let's Read「The Restaurant with Many Orders」(理科) 3年22~31ページ Unit 2「From the Other Side of the Earth」(技術) 3年70~79ページ Unit 5「Living with Robots - For or Against」</li> </ul>
15 道徳との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自己の確立や他者との関わりを大切にしながら国際人として必要な考え方・行動などについて、道徳的な視点から気づきを与えることができる題材を通して、思考力・判断力を育成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①2年50~53ページ Let's Read 1「The Carpenter's Gift」 3年150~151ページ Further Reading 2「Malala Yousafzai: Education First」</li> </ul>
16 家庭学習・自学 自習への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「学び方コーナー」で辞書の使い方、発音記号、パラグラフを意識した書き方、文構造などが扱われています。</li> <li>②1年「一言メモ」や2・3年「コラム」を用意しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①辞書の使い方：1年37ページ、52~53ページ、2年31ページ</li> <li>②3年11ページ「日本の食文化」</li> </ul>
17 英語で授業を 行うための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>①2・3年の Daily Sceneの指示文の一部を英語表記にしています。</li> <li>②入門期Hi, English!で教室英語を取り扱っています。</li> <li>③教科書の英訳を指導書(朱書編)に用意します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①3年16~17ページ Daily Scene 1「食事の会話」</li> <li>②1年5ページ「教室で扱う英語」</li> </ul>
18 ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルコンテンツ(音声や映像)やインターネットなどを活用して効果的に学習できるところには、紙面にアイコンを付しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①1年12~13ページ「アルファベット」 2年82ページ「落語」</li> </ul>
19 特別支援・ ユニバーサル デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>①すべての生徒にとって使いやすい教科書であるために、色覚特性の研究者による検証を行い、読みやすさに細心の注意をしています。</li> <li>②ユニバーサルデザインについて、考える題材を本文で扱います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②2年68~77ページ Unit 5「Universal Design」</li> </ul>
20 文字・印刷・ 製本	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学習要素が毎回定位置に示され、学習の流れが一目でわかります。</li> <li>②文字の読みやすさを最優先に、側注語句欄の新出語句の文字を大きくしています。</li> <li>③判型を大きくして、豊富なイラスト、写真、図版を効果的に掲載しています。針金綴じにしていないので開きやすくなっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①1年46~51ページ Unit 4「ホームパーティー」</li> <li>②1年84ページ 側注「語句」</li> </ul>

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時間数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
26-38	中学校	外国語	英語	第1～3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	英語 727 827 927	NEW HORIZON English Course 1～3		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

3つの「つなぐ」で確かな学力がつく、3部構成の教科書です。

基本方針

1

習得・活用を発信に「つなぐ」

これをくり返して  
英語をしっかり  
身につけましょう。



精選された**基本文**と  
くり返しの**練習**で  
**文法と語彙**の  
**習得**をねらいます。

- 各課の冒頭に文法と活動の観点から目標を明示しています。
- 各基本文に対応する練習問題を豊富に用意しており、定着を確認することができます。
- 練習問題はバリエーション豊かに、スモールステップで難易度を上げているので、早い段階でつまづきに気づくことができ、立ち返る場所を探しやすくなっています。

**場面別コミュニケーション活動**を通して  
Unitで学んだ言語材料の  
**活用**をねらいます。

- 日常生活における言語の使用場面と働きに沿って「電話の会話」や「道案内」、「手紙」、「メール」などを扱います。「話す」・「書く」技能が中心です。
- Unitとは別立ての3年間通しのドラマ仕立てのストーリーを展開しており、Unitでついた力を使って楽しみながらスキット感覚で学習できます。

**自己表現活動**を通して  
日本人として  
世界に伝えたい情報の  
**発信**をねらいます。

- 既習事項をふり返りつつHop→Step→Jumpの3つの手順で日本文化や自分の町などを紹介します。
- 自分の言葉でのスピーチ原稿作成や発表を通して、つまづきに気づきフォローアップできます。
- Challengeで紹介された海外の友達のスピーチを参考にして、英語で文章をまとめる練習ができます。

上記3つの構成の配列に規則性を持たせ、目標と評価を段階をふんで明示し、CAN-DO対応の手順で学習を展開することにより、3年間を通して確実に力がつけられます。

# 学習の見通しとふり返りで確実な定着を

- 文法・語彙・言語の使用場面と働き・題材について、各学年テーマのもとで易しいものから難しいものへと系統的にくり返し練習できます。
- 技能別、あるいは4技能を統合する活動をくり返し行うことで、中学校3年間を通して学びが積み上がる実感を持たせることができます。
- 学習のまとめとして授業の最後に「書く」課題でノート指導を行い、ついた力を確かめることができます。

## Unit

学んだことを

### ↓ パート別にねらう主な技能

学年	パート	聞く	話す	読む	書く
1	Part	○	○	○	○
2・3	Starting Out	○			○
2・3	Dialog		○		○
2・3	Read and Think①②			○	○
1	Listening Activity	○			
2・3	Activity①	○			
2・3	Activity②	○	○	○	○

※1年は通しのストーリーで、1つのUnitが3Partから成るパート構成です。Listening Activityで文法理解の力試しができます。

※2・3年は「聞く」・「話す」技能中心のStarting OutとDialog（**導入**）、読みを通して思考力・判断力を育成するRead and Think（**展開**）、Unit全体の練習問題Activity（**まとめ**）の流れで構成します。

学年	聞く	話す	読む	書く
1・2・3		○		○

※Unitのあとに必ず配置されます。習得した言語材料を日常生活でのリアルな英語を使う「場面」と合わせて見せることによって、習得と活用がつながる構造にしています。

※Unitとは別の、ドラマ仕立てのストーリーを3年間通して展開させます。

学年	聞く	話す	読む	書く
1・2・3	○	○	○	○

※各学年3回、学期末に配置されます。既習の言語材料を使って身近なテーマでスピーチ原稿作りに取り組む時間を確保し、自己表現を習慣づけ、習得と活用が発信につながる構造にしています。

※学年テーマを受けて、3年間通して学習の成果をかたちに残せます。

## Daily Scene

実際に使って

## Presentation

発信につなげる

### ↓ 英語の基礎力を確実につけるために

#### 目標

Unit冒頭に文法と活動の観点から学習の目標を明確に示しています。

#### 本文

短い本文中に基本文で扱う重要文法事項をくり返し示し、インプットします。

#### 基本文

基本文は見開き右ページ上部の見やすい定位置に通り番号を付して置きます。

#### 基本練習 評価1

3年間を通して基本文には必ず絵や図を用いた基本練習を対応させます。

#### 技能別練習 評価2

既習語句を使った易しいアウトプットで定着させ、最後に書く活動で学習の成果を記録します。

#### Activity 評価3

Unitのまとめの練習問題で、ペアやグループで友達とコミュニケーションできます。

#### 目標

日本人の母と米国人の父を持つ少女エリカを主人公とする実写とセリフで、リアルな英語を体験できます。

#### 基本表現・Basic Expression

場面特有の会話表現をセリフで覚えます。

#### STEP 評価4

2・3年の練習問題の指示文を一部英語表記にして、英語で行う授業の助けとします。

#### ふり返ろう 評価5

Hop→Step→Jump→Challengeの課題を終えて、数値目標の達成などを自己評価できます。

#### Challenge

本文中に該当する基本文の番号を付し、積み上げた重要な言語材料の活用例に着目させ、作文の助けとします。

#### Tool Box

イラストの豊富な巻末資料編とのリンクで語彙を充実させ、自己表現活動をサポートします。

## 2 小中高の学習を「つなぐ」

小学校外国語活動と中学校英語との接続をよりスムーズにするために、中学校英語のスタートラインに立つ入門期パートを「Hi, English!」と「Unit 0」の二層型にして、手厚く対応しています。

### 入門期 1

#### 「Hi, English!」

小学校外国語活動の「聞く」・「話す」活動をふり返りながら、クラス全体を楽しくまとめるウォームアップパートです。

### 入門期 2

#### 「Unit 0」

英語の音と文字のつながりを確実におさえるために、アルファベットと単語を書くときのルールを重点的に扱う文字指導パートです。

- 小学校国語教科書で学ぶ機会の多い文学作品を再度英語で取り扱い、日本語と英語の違いを比較できます。  
[例] 「The Restaurant with Many Orders」(1年128～130ページ Let's Read), 「I'll Always Love You」(2年148～151ページ 名作鑑賞)
- 2・3年の「Unit 0」は前学年既習の言語材料を復習しながら、Show and Tellやスピーチの活動で楽しく新学年をスタートできるように設けた橋渡しのパートです。
- 高校以降のスムーズな接続のために、「学び方コーナー」で自学自習に対応します。  
[例] 「辞書の使い方」(1年37ページ, 52～53ページ, 2年31ページ), 「文章のまとめ方」(3年48～49ページ), 「5つの文構造」(3年95ページ)
- 学びを広げるための素材を、巻末資料編で豊富に取り扱っています。  
[例] Word List, Bonus Word Box, Word Room, 英語の音とつづり(1年), Further Reading(3年)

## 3 人と人, 文化と文化, 国と国を「つなぐ」

言葉や文化への理解を深め、知性と感性を育成します。

### 教科書の世界にひき込む題材スパイラル

英語で学びたい人・文化・国を、3学年を通して段階的に、くり返し関連を持って登場させ、生徒の発達段階に応じた無理のない配列で興味関心が深まります。

[例] 日本文化:富士山(1年Unit 10) → 落語(2年Unit 6)  
→ 浮世絵とポップカルチャー(3年Unit 1)

このほか1年でインド、カナダ、オーストラリア、ブラジルなどから来日したキャラクターたちが出会い、2・3年では話題を広げて、世界への興味がより深まるようにしています。

### 今日的な課題の扱い

英語科にふさわしい意味のある切り口で、時代と世界を幅広く見据えた題材選定をしています。

[例] キャリア教育:「Career Day」(2年Unit 3)  
環境:「An Artist in the Arctic」(3年Let's Read 3)  
福祉:「Universal Design」(2年Unit 5)  
防災・安全:「To Our Future Generations」(3年Unit 4)  
技術:「Living with Robots — For or Against」(3年Unit 5)  
自然科学:「Cooking with the Sun」(2年Let's Read 3)

### グローバル社会を生きるモデル像

Daily Sceneでは、インターナショナルスクールに通う少女エリカを主人公とする3年間通しのストーリーを用意し、グローバル社会を身近にイメージできるようにしています。

### 5つのタイプのリーディング教材

タイプ	読みの指導のねらい	読み取りを助ける手引きや課題
Unit Read and Think (2・3年)	・まとまりのある文章の中で重要文法事項を確認 ・題材について考える力を育成	・Point(読みのスキル習得) ・Q&A(内容に関する英問英答) ・Think(考えを深める問い)
Let's Read (1～3年)	・深い内容のある読み物を鑑賞	・Q&A(内容に関する英問英答) ・Review(入試読解対策)
Presentation Challenge (2・3年)	・世界の事例を知り、自己表現用のモデルを学習	・Check(入試読解対策) ・Notes(語彙の注釈)
名作鑑賞 (2・3年)	・身近な名作を原文で鑑賞	・Notes(語彙, 言語材料の注釈)
Further Reading(3年)	・発展的な英文にチャレンジ	・Notes(語彙, 言語材料の注釈)

物語文, 説明文, 感想文, 新聞記事, 日記, スピーチ原稿, グラフ, アンケート, 絵や地図, 図表などの様々な表現形態にくり返し出会える内容になっています。

### 知りたい・伝えたい情報の充実

1年「一言メモ」や2・3年の「コラム」では、生徒の視点で知りたい・伝えたい情報を他教科にも関連させながら取り扱い、人・文化・国への探究心を育てるようにしています。



## 2. 対照表

1年	図書の構成・内容・主な言語材料	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数	
	Hi, English!	(1)ア・イ・ウ, (2), (3), 3(1)キ	4~10ページ	3	
<b>Unit 0</b>	アルファベット	アルファベット, 単語	(1)ア・イ・ウ・エ, (2), (3), (4)ア, 3(1)ウ	12~17ページ	3
<b>Unit 1</b>	はじめまして	I am .... / You are .... (肯定・疑問・否定文)	(1)ア・イ・ウ・エ, (2), (3), (4)ア・イ・ウ	22~27ページ	6
<b>Unit 2</b>	学校で	This [That, He, She] is .... (肯定・疑問・否定文)		30~35ページ	6
<b>Unit 3</b>	わたしの好きなこと	I like [study, play] .... (肯定・疑問・否定文)		38~43ページ	6
<b>Unit 4</b>	ホームパーティー	複数形, How many ...?, 命令文, Let's ....		46~51ページ	6
<b>Unit 5</b>	学校の文化祭	What ...?, 形容詞(補語), What do you ...?		58~63ページ	6
<b>Unit 6</b>	オーストラリアの兄	三人称単数現在形(肯定・疑問・否定文)		66~71ページ	6
<b>Unit 7</b>	ブラジルから来たサッカーコーチ	Who [What time, Which] ...?		76~81ページ	6
<b>Unit 8</b>	イギリスの本	Where [Whose] ...?, 人称代名詞目的格		84~89ページ	6
<b>Unit 9</b>	チャイナタウンへ行こう	現在進行形(肯定・疑問文), Don't [Be] ....		94~99ページ	6
<b>Unit 10</b>	あこがれのボストン	Canの文(肯定・疑問・否定文), When ...?		106~111ページ	6
<b>Unit 11</b>	思い出の一年	一般動詞の過去形(肯定・疑問・否定文)		116~121ページ	6
<b>Daily Scene</b>	1. 体調をたずねる, 2. 電話の会話, 5. 道案内, 6. ちょっとお願い	(1)ア・イ・ウ・エ, (2), 3(1)キ	64~65, 72~73, 100~101, 112~113ページ	各2	
<b>Daily Scene</b>	3. グリーティングカード, 4. ウェブサイト, 7. 絵はがき	(1)エ, 3(2)イ	82~83, 90~91, 122~123ページ	各2	
<b>Presentation</b>	1. 自己紹介, 2. 一日の生活, 3. 思い出の行事	(1)ア・イ・ウ・エ, 3(1)キ	54~55, 104~105, 126~127ページ	各2	
<b>Let's Read</b>	The Restaurant with Many Orders	(1)ウ, 3(2)イ	128~130ページ	3	
<b>学び方コーナー</b>	①単語の書き方	(1)ア・イ・ウ・エ, (2), (3)	18~19ページ	1	
	②文の書き方	(1)エ, (3)イ	28~29ページ	1	
	③辞書の使い方1, ④辞書の使い方2	(3), 3(1)カ	37, 52~53ページ	各1	
	⑤音の変化	(1)ア・イ, (3)ア・イ,	93ページ	1	
	⑥発音記号	(4)ア, 3(1)ウ	115ページ	1	
	<b>まとめと練習</b>	①~⑦	(3), (4)ウ・エ	36, 44, 74, 92, 102, 114, 124ページ	各1
<b>Listening Activity</b>	1~4	(1)ア・エ	45, 75, 103, 125ページ	各1	
合計 112					
2年	図書の構成・内容・主な言語材料	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数	
<b>Unit 0</b>	My Spring Vacation	1年の学習事項	(1)ア・イ・ウ・エ, (2), 3(1)キ	4~5ページ	2
<b>Unit 1</b>	A Friend in a Sister School	be動詞の過去形, 過去進行形, look + 形容詞	(1)ア・イ・ウ・エ, (2), (3), (4)ア・イ・ウ, 3(2)ア・イ・ウ	6~15ページ	8
<b>Unit 2</b>	A Trip to the U.K.	be going to, show + A + B, call + A + B		18~27ページ	8
<b>Unit 3</b>	Career Day	不定詞(副詞的・名詞的・形容詞的用法)		32~41ページ	8

<b>Unit 4</b> Homestay in the United States	have to, 助動詞will, must, must not		54~63ページ	8
<b>Unit 5</b> Universal Design	接続詞if, that, when, because	(1)ア・イ・ウ・エ, (2), (3), (4)ア・イ・ウ, 3(2)ア・イ・ウ	68~77ページ	8
<b>Unit 6</b> Rakugo in English	There isの文, 動名詞		80~89ページ	8
<b>Unit 7</b> The Movie <i>Dolphin Tale</i>	比較表現		100~109ページ	8
<b>Daily Scene</b> 2. ていねいをお願い, 4. 電話の会話, 5. 道案内, 7. 買い物			(1)ア・イ・エ, (2), 3(1)キ	28~29, 64~65, 78~79, 110~111ページ
<b>Daily Scene</b> 1. 日記, 3. メール, 6. 詩		(1)エ	16~17, 42~43, 90~91ページ	各2
<b>Presentation</b> 1. 将来の夢, 2. 町紹介, 3. 好きなこと・もの		(1)ア・イ・ウ・エ, 3(1)キ	46~49, 92~95, 114~117ページ	各4
<b>Let's Read</b> 1 The Carpenter's Gift		(1)ウ	50~53ページ	4
<b>Let's Read</b> 2 Try to Be the Only One		(1)ウ, 3(2)ア	96~99ページ	4
<b>Let's Read</b> 3 Cooking with the Sun		(1)ウ, 3(2)ウ	118~121ページ	4
①辞書の使い方		(3), 3(1)カ	31ページ	1
<b>学び方コーナー</b> ②文の読み方		(1)ウ, (3), (4)ウ	67ページ	1
③意見の述べ方		(1)イ, (2), (3)	113ページ	1
<b>まとめと練習</b> ①~④		(3), (4)ウ・エ	30, 44, 66, 112ページ	各1

合計 103

3年	図書の構成・内容・主な言語材料	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<b>Unit 0</b> Countries around the World	1・2年の学習事項	(1)ア・イ・ウ・エ, (2), 3(1)キ	4~5ページ	2
<b>Unit 1</b> Pop Culture Then and Now	受け身, make + (代)名詞+ 形容詞	(1)ア・イ・ウ・エ, (2), (3), (4)ア・イ・ウ, 3(2)ア・イ・ウ	6~15ページ	8
<b>Unit 2</b> From the Other Side of the Earth	現在完了形(継続), be動詞の過去分詞		22~31ページ	8
<b>Unit 3</b> Fair Trade Event	現在完了形(経験・完了), 不定詞(原因を表す副詞的用法)		34~43ページ	8
<b>Unit 4</b> To Our Future Generations	疑問詞+ to, It is ... (for + (人)) + to, want + (人) + to		58~67ページ	8
<b>Unit 5</b> Living with Robots — For or Against	現在分詞・過去分詞, 間接疑問文		70~79ページ	8
<b>Unit 6</b> Striving for a Better World	名詞を修飾する文, 関係代名詞who, that [which](主格・目的格)		82~91ページ	8
<b>Daily Scene</b> 1. 食事の会話, 3. さそい, 4. 道案内, 5. 電話の会話		(1)ア・イ・エ, (2), 3(1)キ	16~17, 44~45, 68~69, 80~81ページ	各2
<b>Daily Scene</b> 2. 手紙, 6. レポート		(1)エ	32~33, 92~93ページ	各2
<b>Presentation</b> 1. 日本文化紹介, 2. 修学旅行, 3. 中学校生活		(1)ア・イ・ウ・エ, 3(1)キ	18~21, 50~53, 96~99ページ	各4
<b>Let's Read</b> 1 A Mother's Lullaby		(1)ウ	54~57ページ	4
<b>Let's Read</b> 2 The Green Door		(1)ウ	100~104ページ	5
<b>Let's Read</b> 3 An Artist in the Arctic		(1)ウ, 3(2)ア・ウ	106~111ページ	6
<b>学び方コーナー</b> ①文章のまとめ方		(1)エ	48~49ページ	1
②5つの文構造		(3), (4)ウ・エ	95ページ	1
<b>まとめと練習</b> ①		(3), (4)ウ・エ	46~47ページ	2
②			94ページ	1

合計 94

# 編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
26-38	中学校	外国語	英語	第1～3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	英語 727 827 927	NEW HORIZON English Course 1～3		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項
2年 151ページ	名作鑑賞 I'll Always Love You	2	2 (3) エ ※上記項目の中に仮定法は含まれていませんが、原文のまま掲載しました。
3年 144～145ページ 147ページ	名作鑑賞 The Letter	2	2 (3) エ ※上記項目の中に関係副詞と分詞構文は含まれていませんが、原文のまま掲載しました。
3年 149ページ	Further Reading 1 Sato Mami: Making the Best of Life	2	2 (3) エ ※上記項目の中に仮定法は含まれていませんが、本人(佐藤真海さん)の校閲のとおり掲載しました。

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 5ページ)

〔「類型」欄の分類について〕

- …学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- …学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容